



福岡県医発第 1221 号 (地)

平成 29 年 8 月 4 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松田 峻一良

(公 印 省 略)

博多港及び福岡市博多区におけるヒアリの確認等について

さて、平成 29 年 7 月 21 日付福岡県医発第 1090 号 (地)「ヒアリに刺された場合の医療的留意事項について」及び 8 月 3 日付福岡県医発第 1203 号 (地)「ヒアリに刺された場合の医療的留意事項について」にて情報提供を行っていましたが、今般、本県内で発見されたアリが特定外来生物であるヒアリと確認された旨、福岡県保健医療介護部医療指導課よりお知らせがありました。

中国・広東省広州市の南沙港から出航した貨物船から陸揚げされたコンテナを集約するコンテナヤードの地面において、7 月 21 日に港湾管理事業者より発見、及び中国・広東省の蛇口港より出航した貨物船から博多港アイランドシティ・コンテナターミナルで陸揚げされ、陸路にて博多区の事業者敷地に運ばれた貨物コンテナ内において 7 月 27 日に同事業者より発見されております。

7 月 27 日の事案については、事業者作業員が搬出作業中に数匹のアリが付着及び 1 カ所を刺されており、刺傷箇所の周囲に発疹が発生したため、病院で診察を受けておりますが、健康上の問題は生じていないとのことです。

発見時に確認された個体については、すでに殺虫処理されており、確認地点付近及びコンテナが一時的に留め置かれた地点周辺には、ベイト剤等が設置されております。

また、内閣官房内閣広報室より、学校向けにヒアリに関する普及啓発チラシ（小学生向け及び中学生・高校生・教員等向けの計 2 種類）が環境省にて作成され、各都道府県教育委員会等に周知した旨、同課及び日本医師会を通じてお知らせがっております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただき、貴会会員への周知方ご高配賜りますようお願い申し上げます。

なお、内閣広報室及び環境省において、ヒアリに関する情報や写真を掲載したチラシも作成されておりますのでご活用下さい。

29医指第1315号

平成29年7月26日

公益社団法人福岡県医師会長
一般社団法人福岡県歯科医師会長
公益社団法人福岡県病院協会长
一般社団法人福岡県私設病院協会长
一般社団法人福岡県精神科病院協会长
公益社団法人全国自治体病院協議会福岡県支部長

殿

福岡県保健医療介護部長

(医療指導課)



博多港におけるヒアリの確認について（周知）

本県の保健医療行政につきましては、平素から格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

標記について、福岡県環境部自然環境課から別添のとおり周知がありましたのでお知らせします。

つきましては、貴会会員に対して周知していただきますようお願いいたします。

【担当】

医療指導係

TEL 092-643-3274

FAX 092-643-3277

各医師会通知



「公印省略」

29 自 第 8 0 1 号

平成 29 年 7 月 21 日

庁内関係課長 殿

環境部自然環境課長

(野生生物係)

博多港におけるヒアリの確認について (周知)

このことについて、平成 29 年 7 月 21 日に博多港アイランドシティコンテナターミナルのコンテナ近くで発見されたアリについて、専門機関による種の同定の結果、7 月 21 日に特定外来生物であるヒアリと確認されたと下記のとおり環境省と福岡市が報道発表したもので、周知いたします。

つきましては、貴課関係機関に周知していただきますようお願い申し上げます。

なお、市町村環境担当課及び県保健福祉環境事務所につきましては、別途周知しておりますので、申し添えます。

記

○送付資料

報道発表資料 (環境省、福岡市同時発表 平成 29 年 7 月 21 日 19 時 30 分)

福岡県環境部自然環境課

野生生物係：横山・前原

Tel : 092-643-3367 (内線 3477)

Fax : 092-643-3222

e-mail : yokoyama-n9968@pref.fukuoka.lg.jp



博多港におけるヒアリの確認について

<福岡市同時発表>

平成 29 年 7 月 21 日（金）
環境省自然環境局
野生生物課外来生物対策室
代表 03-3581-3351
直通 03-5521-8344
室長 曾宮 和夫
室長補佐 八元 綾
担当 知識 寛之
九州地方環境事務所 野生生物課
直通 096-322-2413
課長 鑑 雅哉
課長補佐 森 一弘

平成 29 年 7 月 21 日に福岡県福岡市博多港において港湾管理事業者により発見されたアリについて、専門家による種の同定の結果、同日に特定外来生物であるヒアリ (*Solenopsis invicta*) と確認されましたので、お知らせします。

当該ヒアリは、中国・広東省広州市の南沙港から出航した貨物船から陸揚げされたコンテナを集約するコンテナヤードにおいて、コンテナの外で発見されたものです。

発見時に確認された個体については、すでに全て殺虫処理しており、また確認地点付近にはベイト剤を設置しています。

1. 経緯

当該ヒアリは、中国広東省広州市の南沙港から出航した貨物船から陸揚げされたコンテナヤードの地面で発見されました。

7/3 及び 10 日

中国広東省広州市の南沙港にてコンテナを積載した貨物船が出港（2 回）。

7/12 及び 19 日

福岡市博多港アイランドシティコンテナターミナルにて南沙港からのコンテナを陸揚げ（2 回）。7/21 まで保管される。

7/21 上記コンテナヤードにおいて港湾管理事業者によりヒアリ調査を実施時に、コンテナヤードにできたアスファルトくぼみ付近にてアリ数十匹が発見される。発見したアリは全て殺虫処分し、サンプルを採取するとともに、発見地点周辺を囲い込むようにアリ忌避剤を散布して万一の拡散を防止するとともに、周辺にベイト剤を設

置。同事業者にて拡大鏡を用いてアリ個体を確認したところ、ヒアリである可能性があると判断され、福岡市と九州地方環境事務所に報告。アリのサンプルは同日中に九州大学熱帯農学研究センターの専門家に同定を依頼。専門家によりサンプルがヒアリであることを確認。

2. 今回の確認されたヒアリについて

確認されたヒアリは、既に同種が定着している中国広東省広州市から輸送されたコンテナを集約しているコンテナヤードで発見され、また、現段階では他の貨物やコンテナが一時的保管された場所の周辺からの発見情報はないため、ヒアリが当該地域周辺に定着し繁殖している可能性は低いと考えられます。

なお、今回ヒアリが確認されたコンテナヤードは、全国の7港湾で緊急に調査されたヒアリ調査（6月30日）の際にはヒアリは確認されていなかった場所です。

3. 今後の対応

当該コンテナヤードで確認された個体は、初期対応の結果、発見された全ての個体が薬剤の噴霧により殺虫処分されました。当地においてはすでにベイト剤設置による防除が実施されておりましたが、今後はベイト剤設置範囲を広げ、水際対策を強化していくこととしています。

なお、福岡県、福岡市、博多港の港湾管理者等の関係機関に対しては、以下を依頼しています。

- ・今回使用した船舶や保管場所、倉庫、その他運搬車両等の関係者に当該生物の混入があったことを周知し、他に混入の恐れがないか確認を依頼すること
- ・今後同様なルートで製品を輸入する際に、当該アリその他の特定外来生物の付着・混入がないよう、現地の工場・保管場所・コンテナ置き場・積み出し港等の状況を把握し、対策を採ること
- ・福岡市や環境省等が行う緊急調査に協力すること（同行取材は調査の都合上ご遠慮願います。）

4. 情報提供のお願い

ヒアリは、攻撃性が強く、刺された場合、体質によってはアナフィラキシー・ショックを起こす可能性があります。世界各地に定着がみられることから、一旦定着すれば根絶することは困難となるため、侵入監視により、早期発見、早期駆除により定着前に根絶を図ることが極めて重要です。

当該博多港や既に発見されている港湾に限らず、海外からの貨物や旅客が到着する港や空港においては同様にヒアリ侵入のリスクがあります。

地方自治体や駆除業者の方々につきましては、在来種ではないことを確認の上、ヒアリと思われる個体が発見された場合には、管轄区域の環境省地方環境事務所にご連絡ください。

連絡先 URL : <http://www.env.go.jp/region/index.html>

ストップ・ザ・ヒアリ（ヒアリの特徴・生態・駆除方法・刺されたときの対処方法等の参考） : https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/files/r_fireant.pdf

※ヒアリは強い毒を持つため、生きた個体を素手で触らないようにしてください。

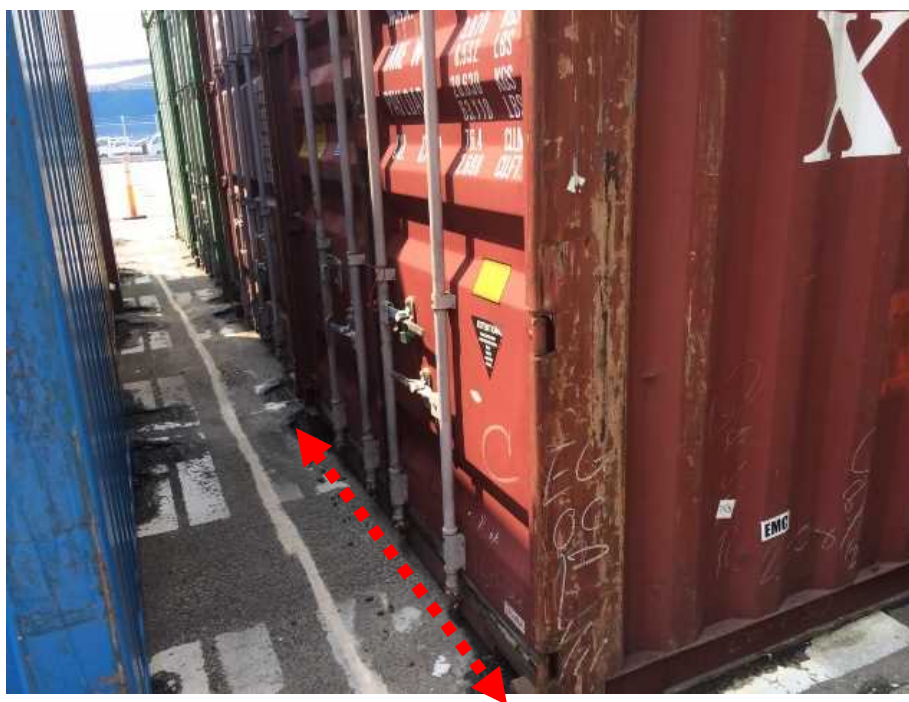
今回発見されたヒアリ



今回ヒアリが確認された場所



今回確認されたコンテナの一面（赤矢印部分）



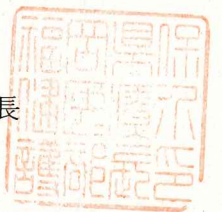
29医指第1364号

平成29年7月31日

公益社団法人福岡県医師会長
一般社団法人福岡県歯科医師会長
公益社団法人福岡県病院協会
一般社団法人福岡県私設病院協会
一般社団法人福岡県精神科病院協会
公益社団法人全国自治体病院協議会福岡県支部長

殿

福岡県保健医療介護部長
(医療指導課)



福岡市博多区におけるヒアリの確認について（周知）

本県の保健医療行政につきましては、平素から格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
標記について、本県環境部自然環境課から別添のとおり周知がありましたのでお知らせします。
つきましては、貴会会員に対して周知していただきますようお願いいたします。

【担当】

医療指導係

TEL 092-643-3274

FAX 092-643-3277

各医師会通知



「公印省略」

29自第822号

平成29年7月27日

庁内関係課長 殿

環境部自然環境課長

(野生生物係)

福岡市博多区におけるヒアリの確認について（周知）

このことについて、平成29年7月27日に福岡市博多区の事業者敷地において同事業者により発見されたアリについて、専門機関による種の同定の結果、7月27日に特定外来生物であるヒアリと確認されたと下記のとおり環境省と福岡市が報道発表したので、周知いたします。

つきましては、貴課関係機関に周知していただきますようお願い申し上げます。

なお、市町村環境担当課及び県保健福祉環境事務所につきましては、別途周知しておりますので、申し添えます。

記

○送付資料

報道発表資料（環境省、福岡市同時発表 平成29年7月27日 20時00分）

福岡県環境部自然環境課

野生生物係：横山・前原

Tel：092-643-3367（内線 3477）

Fax：092-643-3222

e-mail：yokoyama-n9968@pref.fukuoka.lg.jp



福岡市博多区におけるヒアリの確認について

平成 29 年 7 月 27 日（木）
環境省自然環境局
野生生物課外来生物対策室
代表 03-3581-3351
直通 03-5521-8344
室長 曾宮 和夫
室長補佐 八元 綾
担当 知識 寛之
九州地方環境事務所 野生生物課
直通 096-322-2413
課長 鑑 雅哉
課長補佐 森 一弘
担当 立岩 沙知子

＜福岡市同時発表＞

平成 29 年 7 月 27 日（木）に福岡市博多区の事業者敷地において同事業者により発見されたアリについて、専門家による種の同定の結果、同日中に特定外来生物であるヒアリ（*Solenopsis invicta*）と確認されましたので、お知らせします。

当該ヒアリは、中国・広東省の蛇口港より出航した貨物船にて、福岡市東区の博多港アイランドシティ・コンテナターミナル（以下、ICCT）で陸揚げされ、陸路にて福岡市博多区の事業者敷地に運ばれた貨物コンテナ（1 個）内より発見されたものです。

発見時に確認された個体については、すでに全て殺虫処理していますが、確認地点付近やコンテナが一時的に留め置かれた地点周辺では、福岡市と協力してベイト剤等を設置しており、今後ヒアリの調査を行う予定です。

1. 経緯

- 7/18 中国・広東省深圳市の蛇口港（Shekou）からコンテナを積載した貨物船が出港。
- 7/23 福岡市東区の博多港に入港。
- 7/24 博多港 ICCT にて当該コンテナを陸揚げ。ストックヤードにて 7/26 まで保管される。
- 7/26 陸路にて博多港 ICCT から福岡市東区の運送事業者敷地内へ移動。
- 7/27 陸路にて福岡市博多区の事業者敷地内へ移動。コンテナを開けて荷物の搬出作業中にコンテナ内でサナギを含む 30 頭程度のアリを発見。

事業者作業員が搬出作業中に数匹のアリに付着され、刺される。刺傷は 1 箇所だが周囲に発疹が発生したため、病院で診察。健康上の問題は生じていない。

コンテナを密封し、燻蒸消毒。

採取されたアリの死体（サンプル）を九州大学熱帯農学研究センターの専門家に持ち込み、ヒアリであると同定。

九州地方環境事務所職員、福岡市職員、事業者により、生きているヒアリがいないことなど現場の状況を確認。

2. 今回の確認されたヒアリについて

確認されたヒアリは、中国から輸入された貨物コンテナの中で、サナギを含め 30 頭程度が発見されました。現段階では陸揚げした博多港 ICCT 及び福岡市博多区の事業者敷地周辺からの発見情報はありません。中国にて出航前にコンテナ内部に付着し、コンテナ内部で繁殖していた可能性はありますが、現時点ではヒアリが福岡市内の当該地域周辺に定着し、繁殖している可能性は低いと考えられます。

3. 今後の対応

福岡市博多区内で発見されたヒアリは、直後の対応の結果、確認された全ての個体が殺虫処分されました。また、ヒアリが確認されたコンテナは薬剤による消毒を実施しました。しかし、当該コンテナが陸揚げされてから消毒されるまでの間に、周辺地域に侵入してしまった可能性も否定できないため、福岡市等の協力を得て、コンテナが一時的に留め置かれた地点（博多港 ICCT、福岡市博多区の事業者敷地）の周辺において、ベイト剤及び捕獲トラップを設置し、ヒアリが侵入していないことを確認するための調査を開始しました。

なお、福岡市、九州地方整備局、港湾管理者の関係機関に対しては、以下を依頼しています。

- ・今回ヒアリが見つかったコンテナの保管場所、倉庫、その他運搬車両等の関係者に当該生物の混入があったことを周知し、他に混入の恐れがないか確認を依頼すること
- ・今後同様なルートで貨物を輸入する際に、当該アリその他の特定外来生物の付着・混入がないよう、現地の保管場所・コンテナ置き場・積み出し港等の状況を把握し、対策を採ること
- ・今後、国や自治体等が実施する調査で連携を図ること。

4. 情報提供のお願い

ヒアリは、攻撃性が強く、刺された場合、体質によってはアナフィラキシー・ショックを起こす可能性があります。世界各地に定着がみられることから、一旦定着すれば根絶することは困難となるため、侵入監視により、早期発見、早期駆除により定着前に根絶を図ることが極めて重要です。

当該関係地域や既に発見されている港湾に限らず、海外からの貨物や旅客が到着する港や空港においては同様にヒアリ侵入のリスクがあります。

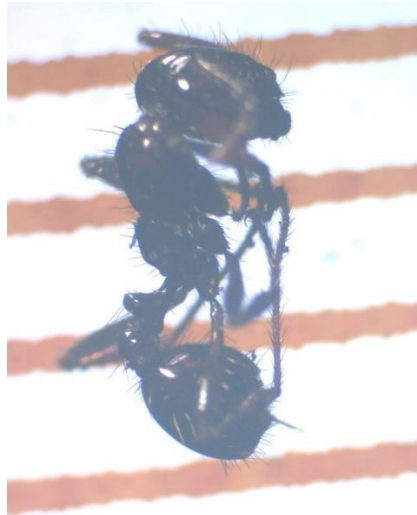
地方自治体や駆除業者の方々につきましては、在来種ではないことを確認の上、ヒアリと思われる個体が発見された場合には、管轄区域の環境省地方環境事務所にご連絡ください。

連絡先 URL : <http://www.env.go.jp/region/index.html>

ストップ・ザ・ヒアリ（ヒアリの特徴・生態・駆除方法・刺されたときの対処方法等の参考） : https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/files/r_fireant.pdf

※ヒアリは強い毒を持つため、生きた個体を素手で触らないようにしてください。

今回発見されたヒアリ（写真：福岡市提供）



今回ヒアリが確認された場所



29医指第1317号

平成29年7月26日

公益社団法人福岡県医師会長
一般社団法人福岡県歯科医師会長
公益社団法人福岡県病院協会长
一般社団法人福岡県私設病院協会长
一般社団法人福岡県精神科病院協会长
公益社団法人全国自治体病院協議会福岡県支部長

殿

福岡県保健医療介護部長

(医療指導課)



ヒアリに関する普及啓発チラシの配布について

本県の保健医療行政につきましては、平素から格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

標記について、環境省自然環境局野生生物課内閣広報室から別添のとおり通知がありましたのでお知らせします。

つきましては、貴会会員に対して周知していただきますようお願いいたします。

各医師会通知



事 務 連 絡
平成 29 年 7 月 19 日

各都道府県環境主管部局 御中

環境省自然環境局野生生物課
内閣広報室

ヒアリに関する普及啓発チラシの配布について（依頼）

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律に基づき特定外来生物に指定されているヒアリについては、7月13日付け事務連絡において、ヒアリの侵入及び定着の防止等のためのご協力を環境省よりお願いしたところですが、今般環境省にて学校向けにヒアリに関する普及啓発チラシ（小学生向け及び中学生・高校生・教員等向けの計2種類）を作成いたしました。

本チラシについては、本日付で文部科学省から各都道府県教育委員会等を通じて学校に対して周知が依頼されておりますので了知願うとともに、貴部局におかれましても、夏季休業期間に多くの児童生徒及び保護者等が集まりやすい施設等における周知について、ご協力願います。

また、内閣広報室及び環境省において、別途、写真、地図、通報先等の情報を記載したチラシも作成しておりますので、あわせてご活用ください。

<添付>

- ・普及啓発チラシ「ヒアリに注意」（小学生向け及び中学生・高校生・教員等向け）
- ・普及啓発チラシ「ヒアリに気をつけて」（上記含む全国民向け）

担 当

環境省自然環境局野生生物課

外来生物対策室 八元、三宅、知識

電 話:(03)5521-8344(直通)

ファックス:(03)3581-7090



ちゅうい ヒアリに注意

ヒアリは、^{なんべいしゅっしん}南米出身の小さなアリです。

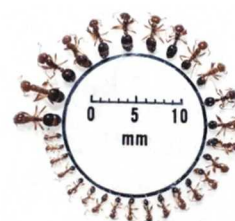
これまで日本ではみつかっていませんでしたが、
6～7月の間に、^{がつ}茨城、^{あいだ}東京、^{いばらき}神奈川、^{とうきょう}愛知、^{かながわ}愛知、^{あいち}愛知、^{ひょうご}兵庫、^{おおさか}大阪でみつけられました。外国からきたコン
テナの中や、^{なか}港の近くの地面にいました。



みわ かた 見分け方

- ・ ^{あかちいろ}赤茶色で、ツヤツヤしている。おしりの色は暗め。
 - ・ ^{いろいろ}色々な大きさのアリが混じっている（2.5-6.0mm）。
 - ・ ^{つち}土で塚を作って^{しゅうだん}集団で暮らす。
- ^{ちゅうい}注意：塚をつつくと、ワッと出てきて^{しゅうだん}集団で刺します。

いろいろな大きさがいる



S.D. Porter, USDA-ARS

あやしいアリがいたら、^{ちか}近づかない、^{さわ}触らないようにしましょう。

さ アリに刺されたら

^{おとな}すぐに大人に相談しましょう。

ヒアリだったら、刺されると、とっても痛い^{いた}です。かゆみ、じんましん、^{いき}息が苦しい、ふらふらするなど^{からだ}体の^{へんか}変化^でが出ることもあります。

先生方、保護者の方へのお願い

ヒアリに似たアリの集団がいて、駆除をお考えの場合は、最寄りの環境省の地方環境事務所や、都道府県の環境部局にご相談ください。

ヒアリが集団にいる場合は、むやみな駆除は拡散させるおそれがあるほか、日本には在来^{こくさい}のアリ（270種以上）がいて、生態系の中で重要な役割を担っており、全てのアリを駆除してしまうことは、日本の生態系を壊してしまうことにつながりかねません。

アリ塚



ヒアリ（火蟻）に注意

ヒアリは、これまで日本では見つかっていませんでしたが、6月以降、茨城、東京、神奈川、愛知、兵庫、大阪で見つかります（平成29年7月18日現在）。ヒアリの多くは、外国から運ばれてきたコンテナの中や、コンテナを水揚げするコンテナヤードで見つかっています。



特徴

- ・ 体長は2.5mm～6.0mmほどの小さな赤茶色のアリです。
- ・ 南米原産ですが、北米、中国、オーストラリアなどで定着しています。
- ・ 土で大きなアリ塚を作り、集団で生活します。
- ・ 攻撃性が強く、棒などで塚をつつくと、集団でワッと出てきて襲いかかります。

アリ塚

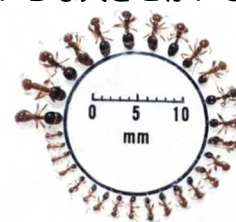


見分け方

小さいため見分けるのは難しいですが、肉眼でわかる特徴もあります。

- ・ 赤っぽくツヤツヤしている。腹部（おしり）の色は暗め。
 - ・ 働きアリの大きさは2.5mm-6.0mm。色々な大きさのアリが混じっている。
- 違う種類：黒いアリ、2.5mm以下の小さなアリ、6.0mm以上の大きなアリ

いろいろな大きさがいる



お願い

S.D. Porter, USDA-ARS

ヒアリに似たアリの集団がいて、駆除をお考えの場合は、最寄りの環境省の地方環境事務所や、都道府県の環境部局にご相談ください。

ヒアリが集団でいる場合は、むやみな駆除は拡散させるおそれがあるほか、日本には在来のアリ（270種以上）がいて、生態系の中で重要な役割を担っており、全てのア리를駆除してしまうことは、日本の生態系を壊してしまうことにつながりかねません。

もしも、アリに刺されたら

- ・ ヒアリであれば、刺された時に熱い！と感じるような激しい痛みがあります。かゆみ、腫、はれ、じんましんや、アレルギー症状が重篤な場合はアナフィラキシー症状（呼吸困難、血圧低下、意識障害）を引き起こす可能性もあります。
- ・ 異変を感じた場合は、直ちに医療機関を受診してください。

ヒアリに気をつけて



これまで存在していなかった危険な毒アリが国内で現れています。
もし発見しても、**決して触らないでください！**



ヒアリが作る大きなアリ塚



葉っぱ上のヒアリ

💡 大きなアリ塚が目印

日本のアリは、大きなアリ塚を作りません。
大きなアリ塚を発見したら、触らず、すぐに通報を。

💡 ヒアリかな？と思ったら

ヒアリのような蟻を見つけたら、自分で駆除せず、お近くの地方環境事務所か都道府県の環境部局に通報を。

通報先 ●●県 環境部（例：東京都 環境局）

検索

💡 もし、刺されて、少しでも異常を感じたら すぐに近くの病院へ。

アリに刺された旨を伝えて受診してください。
ヒアリの毒への反応は、人によって大きく異なります。

ヒアリ FIRE ANT

大きさ 2.5mm~6.0mm

特徴 ●カラダは赤茶色
●腹部に2つのこぶ
●お尻に毒針

刺されると、強い痛みを伴いアレルギー
症状がひどくなると重症化することもある。

ヒアリに関する情報

ヒアリの発生場所も確認できます

[http://www.env.go.jp/nature/
dobutsu/fireant.html](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/fireant.html)

（環境省ホームページ）





さわるとあふない。とてもいたい。

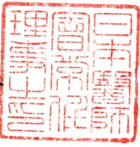
もし、さされたら、すぐに、おとなの人におしえてね。

(地Ⅱ74)

平成29年7月27日

都道府県医師会
学校保健担当理事 殿

日本医師会
常任理事 道永麻里



ヒアリに関する広報資料について（依頼）

今般、文部科学省より、国内各地でヒアリが発見されている現状に鑑み、環境省で作成した注意喚起のチラシなどを都道府県教育委員会に周知した旨、連絡がありました。

ヒアリが確認された場所の情報、見分け方、防除方法、刺された場合の対応および生態などの情報が環境省HPに掲載されております。（刺された場合、アレルギー症状が重篤な場合、アナフィラキシーショックを起こす可能性もあります）

貴会におかれましては、貴会関係の郡市区医師会ならびに学校医に対し、注意喚起いただきますよう、よろしくお願いいたします。

以上

事 務 連 絡
平成 29 年 7 月 19 日

各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課
各都道府県教育委員会専修学校各種学校主管課
各 都 道 府 県 私 立 学 校 主 管 課
各 国 公 私 立 大 学 事 務 局
大学を設置する各学校設置会社の学校担当事務局
各 国 公 私 立 高 等 専 門 学 校 事 務 局 御中
独立行政法人国立高等専門学校機構事務局
小中高等学校を設置する学校設置会社を所管する
構造改革特別区域法第 12 条第 1 項の認定を
受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課
各都道府県・指定都市認定こども園主管課

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課

ヒアリに対する広報資料について

ヒアリに関しては、すでに当課より平成29年7月14日付け及び同年7月19日付け事務連絡において、児童・生徒等への周知方をお願いしているところですが、今般、別添のとおり、環境省自然環境局野生生物課及び内閣広報室において、各都道府県環境主管部局宛て事務連絡を発出し、教育委員会等と連携の上情報の周知につき依頼した旨、内閣官房内閣広報室より連絡がございました。

つきましては、本件ご了解願うとともに、関係部局・機関と連携・協力の上、適切に対応いただきますようお願いいたします。

その際、別添事務連絡にありますように、内閣広報室及び環境省において、写真、地図、通報先等の情報を記載したチラシも作成しておりますので、あわせてご活用ください。

(本件担当)

文部科学省初等中等教育局
健康教育・食育課保健管理係
TEL:03-5253-4111 (内線 2976)
FAX:03-6734-3794

別 添 1

事 務 連 絡

平成 29 年 7 月 19 日

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 御中

内閣官房内閣広報室

ヒアリに対する広報資料について（依頼）

国内各地でヒアリが発見されている現状に鑑み、注意喚起を行うためのチラシを内閣官房の協力の下、環境省において作成し、各都道府県環境担当部局に送付したところです。ついては、貴省におかれましても、都道府県及び市町村教育委員会等に配布いただきますようお願いいたします。

内閣官房内閣広報室

担当：宮元、前田

事 務 連 絡
平成 29 年 7 月 19 日

各都道府県環境主管部局 御中

環境省自然環境局野生生物課
内閣広報室

ヒアリに関する普及啓発チラシの配布について（依頼）

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律に基づき特定外来生物に指定されているヒアリについては、7月13日付け事務連絡において、ヒアリの侵入及び定着の防止等のためのご協力を環境省よりお願いしたところですが、今般環境省にて学校向けにヒアリに関する普及啓発チラシ（小学生向け及び中学生・高校生・教員等向けの計2種類）を作成いたしました。

本チラシについては、本日付で文部科学省から各都道府県教育委員会等を通じて学校に対して周知が依頼されておりますので了知願うとともに、貴部局におかれましても、夏季休業期間に多くの児童生徒及び保護者等が集まりやすい施設等における周知について、ご協力願います。

また、内閣広報室及び環境省において、別途、写真、地図、通報先等の情報を記載したチラシも作成しておりますので、あわせてご活用ください。

<添付>

- ・普及啓発チラシ「ヒアリに注意」（小学生向け及び中学生・高校生・教員等向け）
- ・普及啓発チラシ「ヒアリに気をつけて」（上記含む全国民向け）

担 当
環境省自然環境局野生生物課
外来生物対策室 八元、三宅、知識
電 話:(03)5521-8344(直通)
ファックス:(03)3581-7090



事 務 連 絡
平成 29 年 7 月 14 日

各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課
各都道府県教育委員会専修学校各種学校主管課
各都道府県私立学校主管課
各国公立大学事務局
大学を設置する各学校設置会社の学校担当事務局
各国公私立高等専門学校事務局
独立行政法人国立高等専門学校機構事務局
小中高等学校を設置する学校設置会社を所管する
構造改革特別区域法第 12 条第 1 項の認定を
受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課
各都道府県・指定都市認定こども園主管課

御中

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課

ヒアリに関する周知について（依頼）

環境省自然環境局野生生物課より、別添のとおり各都道府県環境主管部局に対し平成 29 年 7 月 13 日付け事務連絡「ヒアリに関する対応について（依頼）」が発出されるとともに、当省に対し別紙のとおりヒアリに関する周知について依頼がありました。

つきましては、関係部局・機関と十分連携の上対応して頂くとともに、必要に応じて、都道府県・指定都市教育委員会におかれましては、域内の市区町村教育委員会及び所管の学校に対して、都道府県私立学校主管課及び構造改革特別区域法第 12 条第 1 項の認定を受けた地方公共団体の学校設置会社担当課におかれましては所轄の学校に対し、各都道府県・指定都市認定こども園主管課におかれましては所轄の認定こども園に対し、周知頂きますようお願いいたします。

<参 考>

ヒアリの確認状況、見分け方、防除手法、刺された場合の対応及び生態等につきましては、環境省 WEB サイトをご参照ください。

<http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/fireant.html>

（本件担当）

文部科学省初等中等教育局
健康教育・食育課保健管理係
TEL:03-5253-4111（内線 2976）
FAX:03-6734-3794

別 紙

事 務 連 絡
平成 29 年 7 月 13 日

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 御中

環境省自然環境局野生生物課

ヒアリに関する周知について（依頼）

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律に基づき特定外来生物に指定されているヒアリについては、6月に兵庫県尼崎市で確認されて以降、現在までに兵庫県神戸市、愛知県弥富市、大阪府大阪市、東京都品川区、愛知県飛島村、愛知県春日井市で相次いで確認されており、我が国への侵入及び定着が懸念される状況となっております。

つきましては、学校等に対して、ヒアリに関する情報を適切に周知いただくようお願いいたします。周知にあたり、必要な情報がありましたら、当課までご連絡ください。

なお、ヒアリの確認状況、見分け方、防除手法、刺された場合の対応及び生態等については、WEBサイトをご参照ください。

<http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/fireant.html>

担 当

環境省自然環境局野生生物課

外来生物対策室 八元、三宅、知識

電 話:(03)5521-8344(直通)

ファックス:(03)3581-7090

環境省HP

① www.env.go.jp/nature/dobutsu/fireant.html

最新プレスリリース 労働政策委員会(先) 中央教育審議会

環境省
Ministry of the Environment

日本語 | English | Français | 한국어 | 中文

Google カスタム検索

トピックス一覧 新着情報一覧 報道発表一覧 環境Q&A

ホーム 環境省のご案内 政策分野・行政活動 環境基準・法令等 白書・統計・資料 申請・届出・公称 報道・広報

自然環境・生物多様性

ホーム > 政策分野・行政活動 > 環境分野一覧 > 自然環境・生物多様性 > 外来生物法について > ヒアリに関する諸情報について

ヒアリに関する諸情報について

ヒアリに関しては多くのご関心をお寄せ頂いています。
このページではこれまで環境省が公表した情報や、参考となる資料をまとめています。

～怪しいアリを見つけても冷静な対応をお願いします～

① ヒアリの特徴と見分け方

- 日本の在来種と異なり、土で大きなアリ塚を作るのが特徴です。
- 攻撃性が強く、膝などを噛みつきつくと集団でツツと出てきて襲いかかってきます。




- 小さいため、他のアリと見分けるのは困難ですが、内臓でわかる特徴もあります。
- ① 赤っぽくツツツしている。
- ② 腹黒い(おしり)の部分は黒い色。
- ③ 大きさは2.5mm～6mmで様々な大きさのアリが混在



② 怪しいアリを見つけたら

- ・ヒアリに似たアリの集団がいて、駆除をお考えの場合は、最寄りの環境省の地方環境事務所や都道府県庁に相談ください。
*<https://www.env.go.jp/region/saijoh.html>
- ・ヒアリが巣にいる場合、むやみな駆除は駆除させるおそれがあるほか、日本には在来種のアリ(270種以上)が全米の地で重要な役割を担っており、全てのアリを駆除してしまうことは、日本の生態系を壊してしまうことにつながります。

③ もし、ヒアリに刺されたら・・・

万が一ヒアリに刺された場合、強い激しい痛みや腫れを感じます。
異常を感じたら、すぐに医療機関でアリに刺された痕を伝えて受診を。

軽度 刺された場所に赤い腫れ、そのほか、かゆみ、腫れ、発赤、発熱、頭痛、めまい、嘔吐、下痢、アレルギー反応(じんましん、アナフィラキシー等) 数十分から数時間後(アレルギー反応は即時反応、遅延反応、アレルギー反応)

④ 環境省のご案内

政策分野・行政活動

- 政策分野一覧
- 審議会、委員会等
- 環境省附属機関
- 東北支庁、千葉支庁
- 環境政策推進課
- 行政事務支援センター
- 環境政策
- 環境政策推進課
- 公害対策推進課
- 公害対策推進課
- 公害対策推進課

環境基準・法令等

- 白書・統計・資料
- 申請・届出・公称
- 報道・広報

6. これまでの報道発表について

- 6月13日ヒアリの国内初確認について
<http://www.env.go.jp/press/104185.html>
- 6月16日神戸港におけるヒアリの確認について
<http://www.env.go.jp/press/104203.html>
- 6月30日名古屋港におけるヒアリの確認について
<http://www.env.go.jp/press/104273.html>
- 6月30日博多港におけるヒアリの調査状況について
<http://www.env.go.jp/press/104275.html>
- 7月4日大阪港におけるヒアリの確認について
<http://www.env.go.jp/press/104283.html>
- 7月4日大阪港におけるヒアリの確認について(女王アリの確認)
<http://www.env.go.jp/press/104286.html>
- 7月4日那覇港におけるヒアリの調査状況について
<http://www.env.go.jp/press/104287.html>
- 7月5日横浜港におけるヒアリの調査状況報告について
<http://www.env.go.jp/press/104297.html>
- 7月5日兵庫県内におけるアリの調査状況報告について
<http://www.env.go.jp/press/104298.html>
- 7月6日大阪港におけるヒアリの調査状況報告について
<http://www.env.go.jp/press/104310.html>
- 7月6日東京港におけるヒアリの確認について
<http://www.env.go.jp/press/104306.html>
- 7月7日横浜港におけるヒアリの調査状況報告について
<http://www.env.go.jp/press/104311.html>
- 7月7日東京港におけるヒアリの調査状況報告について
<http://www.env.go.jp/press/104312.html>
- 7月10日愛知県内におけるヒアリの確認について
<http://www.env.go.jp/press/104314.html>
- 7月10日神戸港におけるヒアリの調査状況報告について
<http://www.env.go.jp/press/104317.html>
- 7月11日横浜港におけるヒアリの調査状況報告について
<http://www.env.go.jp/press/104321.html>
- 7月12日名古屋港におけるヒアリの調査状況報告について
<http://www.env.go.jp/press/104326.html>
- 7月12日東京港におけるヒアリの調査状況報告について
<http://www.env.go.jp/press/104337.html>
- 7月13日東京港におけるヒアリの調査状況報告について
<http://www.env.go.jp/press/104340.html>
- 7月14日神戸港におけるアリの調査状況報告について
<http://www.env.go.jp/press/104342.html>
- 7月14日横浜港におけるヒアリの調査状況報告について
<http://www.env.go.jp/press/104343.html>
- 7月14日東京港におけるヒアリの調査状況報告について
<http://www.env.go.jp/press/104345.html>
- 7月16日愛知県内におけるヒアリの確認について
<http://www.env.go.jp/press/104346.html>

4. 情報提供のお願い

ヒアリは、攻撃性が強く、刺された場合、体質によってはアナフィラキシー・ショックを起こす可能性があるなど人体にとって危険な生物です。世界各国に定着がみられることから、一旦定着すれば根絶することは困難となるため、侵入監視により、早期発見、早期駆除により定着前に根絶を回ることが極めて重要となります。

神戸港に限らず、海外からの貨物や旅客が到着する港や空港においては周知にヒアリ侵入のリスクがあります。

地方自治体や船務業者の方々につきましては、ヒアリと思われる個体が発見された場合には、管轄区域の環境省地方環境事務所にご連絡ください。

連絡先URL: <http://www.env.go.jp/region/index.html>

ストップ・ザ・ヒアリ(ヒアリの特徴・生態・駆除方法・刺されたときの対処方法等の参考): https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/files/r_fireant.pdf

※ヒアリは強い毒を持つため、生きた個体を素手で触らないようにしてください。

(ヒアリの写真) 全体は赤茶色で腹部が黒っぽい赤色



発生地域が表示されます。

ヒアリを発見した場所及びコンテナの焼却作業を実施した場所



ヒアリ（火蟻）に注意

ヒアリは、これまで日本では見つかっていませんでしたが、6月以降、茨城、東京、神奈川、愛知、兵庫、大阪で見つかります（平成29年7月18日現在）。ヒアリの多くは、外国から運ばれてきたコンテナの中や、コンテナを水揚げするコンテナヤードで見つかっています。



特徴

- ・ 体長は2.5mm～6.0mmほどの小さな赤茶色のアリです。
- ・ 南米原産ですが、北米、中国、オーストラリアなどで定着しています。
- ・ 土で大きなアリ塚を作り、集団で生活します。
- ・ 攻撃性が強く、棒などで塚をつつくと、集団でワッと出てきて襲いかかります。

アリ塚

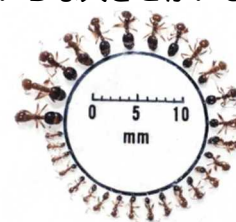


見分け方

小さいため見分けるのは難しいですが、肉眼でわかる特徴もあります。

- ・ 赤っぽくツヤツヤしている。腹部（おしり）の色は暗め。
 - ・ 働きアリの大きさは2.5mm-6.0mm。色々な大きさのアリが混じっている。
- 違う種類：黒いアリ、2.5mm以下の小さなアリ、6.0mm以上の大きなアリ

いろいろな大きさがいる



お願い

S.D. Porter, USDA-ARS

ヒアリに似たアリの集団がいて、駆除をお考えの場合は、最寄りの環境省の地方環境事務所や、都道府県の環境部局にご相談ください。

ヒアリが集団でいる場合は、むやみな駆除は拡散させるおそれがあるほか、日本には在来のアリ（270種以上）がいて、生態系の中で重要な役割を担っており、全てのアリを駆除してしまうことは、日本の生態系を壊してしまうことにつながりかねません。

もしも、アリに刺されたら

- ・ ヒアリであれば、刺された時に熱い！と感じるような激しい痛みがあります。かゆみ、腫、はれ、じんましんや、アレルギー症状が重篤な場合はアナフィラキシー症状（呼吸困難、血圧低下、意識障害）を引き起こす可能性もあります。
- ・ 異変を感じた場合は、直ちに医療機関を受診してください。

ちゅうい ヒアリに注意

ヒアリは、^{なんべいしゅっしん}南米出身の^{ちい}小さなアリです。

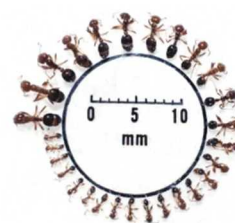
これまで日本では^{にほん}みつかっていませんでしたが、
6～7月の間に、^{がつ}茨城、^{あいだ}東京、^{いばらき}神奈川、^{とうきょう}愛知、^{かながわ}愛知、^{あいち}愛知、^{ひょうご}兵庫、^{おおさか}大阪で^{がいく}みつけられました。外国からきたコン
テナの中や、^{なか}港の^{みなと}近くの^{ちかく}地面にいました。



みわ かた 見分け方

- ・ ^{あかちいろ}赤茶色で、^{いろう}ツヤツヤしている。^{くら}おしりの色は暗め。
 - ・ ^{いろう}色々な^{おお}大きさの^まアリが^{しゅうだん}混じっている（2.5-6.0mm）。
 - ・ ^{つち}土で^{つか}塚を作って^く集団で暮らす。
- ^{ちゅうい}注意：^{つか}塚をつつくと、^でワッと出てきて^{しゅうだん}集団で^さ刺します。

いろいろな大きさがいる



S.D. Porter, USDA-ARS

あやしいアリがいたら、^{ちか}近づかない、^{さわ}触らないようにしましょう。

さ アリに刺されたら

^{おとな}すぐに^{そうだん}大人に相談しましょう。

ヒアリだったら、^さ刺されると、^{いた}とっても^{いき}痛い^いです。かゆみ、じんましん、^く息が^{からだ}苦しい、^{へんか}ふらふらするなど^で体の変化が^い出ることもあります。

先生方、保護者の方へのお願い

ヒアリに似たアリの集団がいて、駆除をお考えの場合は、最寄りの環境省の地方環境事務所や、都道府県の環境部局にご相談ください。

ヒアリが集団にいる場合は、むやみな駆除は拡散させるおそれがあるほか、日本には在来のアリ（270種以上）がいて、生態系の中で重要な役割を担っており、全てのアリの駆除してしまうことは、日本の生態系を壊してしまうことにつながりかねません。

アリ塚



ヒアリに気をつけて

これまで存在していなかった危険な毒アリが国内で現れています。
もし発見しても、**決して触らないでください！**



ヒアリ FIRE ANT

大きさ 2.5mm~6.0mm

特徴 ●カラダは**赤茶色**
●腹部に2つのこぶ
●お尻に毒針

刺されると、強い痛みを伴いアレルギー
症状がひどくなると重症化することもある。

ヒアリに関する情報

ヒアリの発生場所も確認できます
<http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/fireant.html>
(環境省ホームページ)



ヒアリが作る大きなアリ塚



葉っぱ上のヒアリ

💡 大きなアリ塚が目印

日本のアリは、大きなアリ塚を作りません。
大きなアリ塚を発見したら、触らず、すぐに通報を。

💡 ヒアリかな？と思ったら

ヒアリのような蟻を見つけたら、自分で駆除せず、お近くの
地方環境事務所か都道府県の環境部に通報を。

通報先 ●●県 環境部 (例：東京都 環境局)

💡 もし、刺されて、少しでも異常を感じたら すぐに近くの病院へ。

アリに刺された旨を伝えて受診してください。
ヒアリの毒への反応は、人によって大きく異なります。

内閣官房
環境省



さわるとあぶない。とてもいたい。
もし、さされたら、すぐに、おとなの人におしえてね。